

科学者委員会 学術研究振興分科会（第26期・第9回）

議事要旨

1. 日時 令和8年3月26日（木）13:00～14:30
2. 会場 オンライン会議（Zoom）
3. 出席者 分科会委員（敬称略）：岩崎 博史、丹下 健、中野 貴由、野口 晴子、
藤原 康弘、光石 衛、宮川 剛、森田 一樹、
山崎 典子、山本 晴子
オブザーバー（敬称略）：梅津 理恵、岸本 喜久雄、腰原 伸也、齋藤 政彦、
下條 真司、竹山 春子、戸谷 圭子、芳賀 満、
中村 卓司、宮崎 恒二、村上 伸也

4. 資料

資料1 科学者委員会学術研究振興分科会（第26期）委員名簿

資料2 第8回議事要旨

資料3-1 「未来の学術振興構想」のフォローアップに係る意見・提案

資料3-2 「未来の学術振興構想」フォローアップ方法に係る提案（宮川先生
提出資料）

5. 議事

冒頭に、事務局より定足数を充足していることが確認された。委員長より、「未来の学術振興構想」について、今期のフォローアップの検討と、次期以降の方針についての議論を念頭に置きながら議事を進める旨の説明がされた。また、未来の学術振興構想評価小委員会委員もオブザーバーとして参加可能であることが確認された。その後、資料の確認を実施した後、以下の議事に進んだ。

1) 提言のフォローアップについて

資料3-1および資料3-2に基づき、フォローアップ方法について検討された。まず委員からの意見・提案として、官公庁と社会一般への二種類の説明の必要性、日本成長戦略本部／日本成長戦略会議における成長戦略との関連付けの可能性（さらには、経済活動に関連するもの以外の構想の重要性も含めてより広く説明していく必要性）、国民や産業界との対話を進め研究投資の正当性を理解いただくための双方向型フォーラムとしてサイエンスアゴラへの参加を検討する案などが紹介され、これらに関連して委員から意見や質問が出された。

サイエンスアゴラについて、9月12日・13日の「サイエンスアゴラ 2026」への出典を目途に、企画・出展内容・参加主体・予算・RISTEX（社会技術研究開発センター）との事前打ち合わせの必要・応募のプロセスなどについて検討され、今後具体的に進めてい

くこととなった。また、グランドビジョンごとの広報資料の作成、成長戦略との関連付けについても、提言の取りまとめの状況をにらみつつ、引き続き検討を続けていくこととなった。

2) その他

関連する事項として、事務局より、「学術の中長期研究戦略」付録資料の確認作業とグランドビジョン本文の暫定版の提出について、リマインドがおこなわれた。

以上